

# キャベツ、ブロッコリー、ハクサイのセル育苗

## 1 材料

- ①128穴セルトレイ 定植本数の2割増し程度育苗する
- ②専用培土: 愛菜1号または与作N-150  
セルトレイ1枚当たり3.2ℓ程度必要 
- ③種子: 定植本数の少なくとも5割増し程度準備する(20ml 当たり約 4000 粒)。コート種子を用いるのが播きやすいが、裸種子でもOK
- ④液肥: 窒素主体の液肥を用いる。
- ⑤トンネル: 直接雨に当てないために必要。
- ⑥寒冷紗: 夏の強い直射日光から苗を守る。シルバーや白色で遮光率の高くないもの(遮光率30%前後)を用いる。
- ⑦ブロック、たる木: セルトレイを直接地面に置くとトレイから外へ根がでるので、高床式に管理するため。

## 2 は種・定植時期

キャベツ・ブロッコリーは8月上旬は種で25日育苗、ハクサイは8月下旬は種で20日育苗し、9月上中旬頃の定植が一般的。

## 3 作業手順

### ①培土の充填

セルトレイに育苗培土を入れ、十分かん水する。

### ②播種

セルの真ん中に割り箸などで深さ5mm程度の穴を作り1粒ずつ播種します。播種後指で土を寄せて覆土し、土をならす程度に軽くかん水する。その後乾燥防止のため濡れた新聞紙をかける。

### ③播種直後

かん水は原則としてしないが、乾燥するようなら少量する(～2日目)。

### ④3日～10日目

芽が出たら新聞紙を取り除き、1日程度日陰で管理した後、寒冷紗を張ったトンネルに移す。

トレイは育苗箱を下に敷き、ブロックやたる木の上に置いて高床式にする。

かん水は乾燥しないように朝と夕方に行う。かん水量は1日、1トレイ当り晴天日で700ml、曇天日で

400ml 程度とし、液肥は施用しない。

トレイの縁の方は乾きやすいので重点的にかん水する。晩のかん水は徒長を招くのでしない。

⑤10日～20日目

液肥かん水に切り替えます。濃度は10%の窒素成分を含む液肥なら2000～4000倍で使用する。液肥かん水は葉色を見て濃度を加減する。葉色が濃い時は水だけのかん水でも十分。

⑥20日～25日目

液肥かん水を続ける。かん水量と液肥の濃度を調節して、葉色が淡くて手触りが硬く、根張りのよい苗に仕上げる。

寒冷紗を徐々に取り除き外気に馴らしてゆく。

本葉3～4枚が定植適期。定植が遅れると老化苗となり活着が悪くなるので注意する。

[\(戻る\)](#)